

年間学習指導計画作成資料 第5学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		Believe	
	・音楽活動の楽しさを味わって、学習への意欲を高めるようにする。	ふしの重なり合いを感じ取ろう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	歌声のひびき合いを感じながら合唱しましょう。 歌と楽器のひびき合いを感じながら演奏しましょう。	● こいのぼり いつでもあの海は やさしい風に	7
	・声や音が重なり合う響きを感じ取ったり、アジアの伝統音楽に親しんだりするようにする。	アジアの音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようにする。	アジアのいろいろな国の音楽をききましょう。 ふしの特ちょうを感じながら、きいたり歌ったりしましょう。 日本のふしや楽器に親しみながら、おはやしをつくりましょう。	◎ アジアの国々の音楽 ◎ アリラン／まつり花 おはやしづくり ● 子もり歌	8
	・音色や響きの特徴や和音の響きの美しさを味わったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。	いろいろなひびきを味わおう	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	弦楽器の音をきき比べましょう 歌と楽器が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	◎ 美しきロスマリン／白鳥 わたり鳥と少年	5
	・八長調及びイ短調の視唱や視奏に親しみ、曲想を感じ取ったり歌詞の内容を理解したりして、表情豊かに表現する力を高めるようにする。	重なり合う音の美しさを味わおう	・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	和音のひびきの移り変わりを感じながら演奏しましょう。 和音のひびきを楽しみながら合唱しましょう。 音が重なり合うひびきの美しさを味わいながら、きいたり合奏したりしましょう。	静かにねむれ それは地球 ◎ 威風堂々 第1番 //	9
		曲想を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることができるようにする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。	短調の気分を感じて歌いましょう。 曲想を味わいながらききましょう。 曲想を生かして合奏しましょう。	秋にさよなら ◎ アイネ クライネ ナハトムジーク 第3楽章 自分の気持ちを曲で表そう。 ● 冬げしき キリマンジャロ	8
	・日本の歌曲の美しさを味わったり、これまでの学習を生かして、友達と一緒に気持ちをこめて表現する喜びを味わったりするようにする。	日本の音楽を味わおう	・歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わうようにする。	言葉の美しさを味わいながら、日本の歌曲をききましょう。	◎ 浜辺の歌／待ちぼうけ／荒城の月 ● スキーの歌	5
		心をこめて演奏しよう	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	ひとつひとつの音を大切にしながら演奏しましょう。 歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	夕ぐれ 失われた歌 大空がむかえる朝 朝日をあびて	8
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		海／ほたるの光 ゆかいに歩けば／世界がひとつになるまで 明日に向かって／大空よ あなたののもとに 南風にのって／ふるさとの春 つばさをだいて 生命のいづき	
	物語と音楽			走れメロス		
					君が代	時数合計 50